



第74回 ー第5章 「常に進歩をめざすところに生きがいがある」(その3)

★今日一日に全力投球

今日という1日をプレゼントされたことに感謝しよう。

- ・今日、美しい花が咲いている。鑑賞会に招待されたあなたは、これを満喫しよう。
- ・今日、鳥が鳴いている。演奏会に招待されたあなたは、演奏に耳を傾けよう。
- ・今日、助けを求める人たちに会った。できるだけのことをして援助してみよう。

あらゆる場面にあなたは招待されているのである。

劇場の演劇が始まっても昨日や明日のカーテンが閉まったままでは、ころゆくまで演劇を鑑賞することはできない。過去のことに気を取られていたり、明日のことを思い煩ってでは、今日の演劇を見逃してしまう。

カーテンが左右に開き、広い舞台が目の前に広がる。音楽、舞踊・・・そして笑い、涙、夢・・・のドラマが展開される。生き生きとした人生の舞台が始まるのだ。見逃してはならない。

昨日、夢に見た明日という日が、今、今日という現実としてやってきた。今日はあなたの手中にある。

過ぎ去った昨日に気をとられるな。まだ来ない明日について憂えるな。

今日一日に、全力で取り組むのだ。そこに未来の鍵がある。

★1日1日が新しいチャンスである。

信念の道を歩む者は、いつも新しい情熱が体内に流れるのを感じる。目標をしっかりと見つめていれば道を見間違えることはない。信念の道を歩めば、見えない力が働き、適切なときに適切な示唆を与えてくれる。試練もあるが、すべては神の計画通りに進んでいる。1日1日、目標を再確認しつつ、仕事にしっかり打ち込むことが、素晴らしい明日をゲットするチャンスでもある。

我々が放棄しない限り、明日が我々を見捨てることはない。

1日1日、我々の英知を尽くして取り組めば、明日はきっと何かよいことが起こるであろう。

明日を信じよう。信じることで思いもよらない力が生まれ、気力と情熱が湧いてくる。

いつも新しい明日が訪れる。明日の太陽が昇れば、その後ろには多くの幸運が待っている。

真の信念を持つ人の運勢はいつも良い方向へ向かう。明日は今日よりもよくなるのだ。

だから、明日に期待しよう。たとえうまくいなくても、決して失望してはならない。

信じて進めば、近い将来、必ず良くなるのだ。

<MIKO>

参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より